

NAGASAKI PREFECTURAL BEEF CATTLE IMPROVEMENT CENTER GUIDE

長崎県肉用牛改良センター要覧



 長崎県肉用牛改良センター

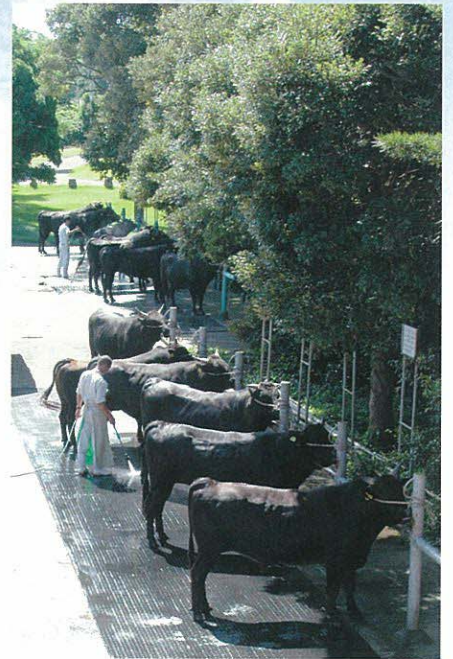
「肉用牛振興ビジョン21」

1. 肉用牛の改良増殖に関すること

(1) 肉質・肉量を兼備した経済性に富む種雄牛の造成



超音波生体肉質
測定装置による判定



種雄牛の管理



産肉能力検定の実施



検定牛の枝肉調査

(2) 凍結精液の計画的生産・配布



精液採取



精液検査



凍結精液の製造作業

(3) 肉用牛の改良情報の収集分析

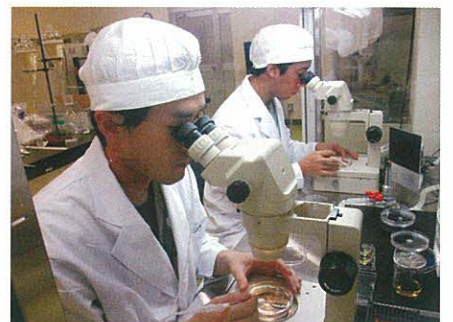


情報処理室

(4) 受精卵移植技術を活用した種雄牛づくり



供卵牛からの採卵



受精卵の鑑別

の達成をめざして!

(5) DNAマーカーを指標とした育種手法の開発研究



牛DNAの解析

業務案内

2. 飼料作物の高位生産と加工調製に関すること



牧乾草の調製

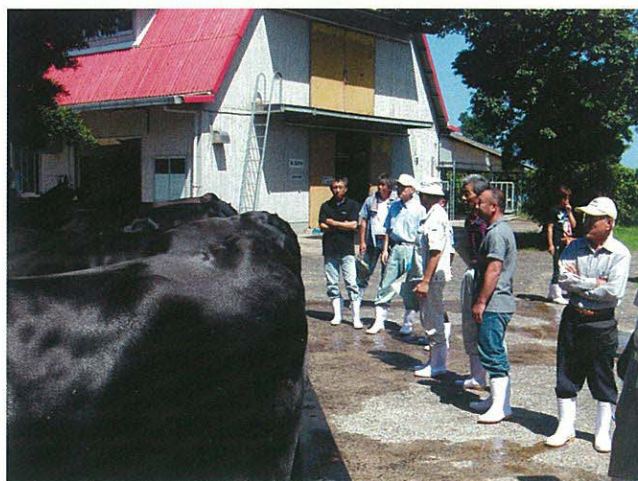


供卵牛の放牧

3. 肉用牛経営の安定と向上を図るための指導



肉用牛講習会

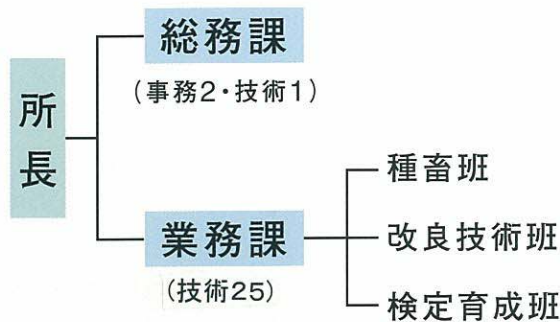


生産者視察

沿革

- 昭和13年10月 業務開始
- 16年10月 畜産練習生の養成開始
- 33年 4月 家畜人工授精業務を開始
- 45年10月 肉用牛の凍結精液生産開始
- 46年 3月 事務所本館新築移転
- 51年 4月 凍結精液全面切替
- 55年 5月 県有種雄牛の集中管理開始
- 平成 2年10月 超音波生体肉質測定装置の導入
- 3年 4月 優良肉用牛生産情報システムの整備開始
- 5年 4月 スーパーサイヤー造成事業を開始
- 9年 4月 肉用牛改良センターに名称変更
- 10年 4月 受精卵処理業務開始(供卵牛繋養開始)
- 11年 1月 家畜DNA育種手法実用化事業を開始
- 18年 4月 現場後代検定へ移行(検定開始)

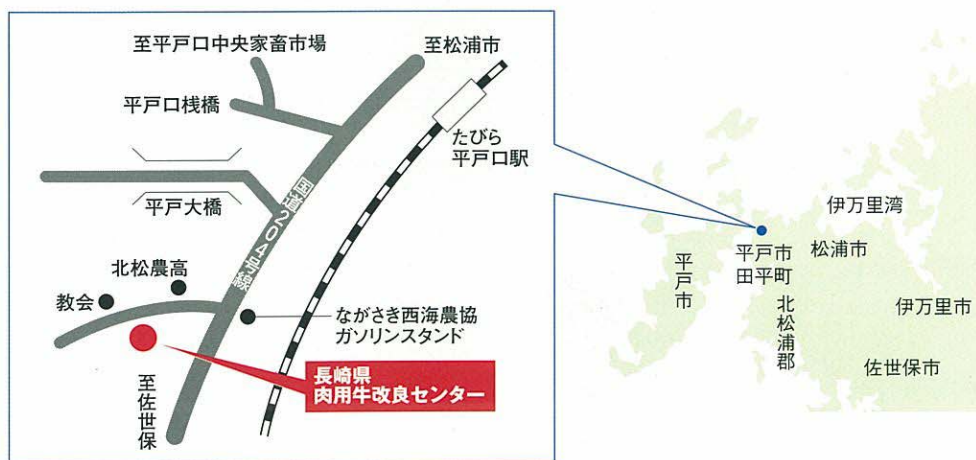
組織



用地・家畜

- 敷地面積 24.8ha
- うち飼料畑 5.9ha
- 家畜頭数(常時飼養頭数)
- 種雄牛…………… 12頭
- 待機種雄牛…………… 12頭
- 育成種雄牛…………… 5頭
- 直接検定牛…………… 8頭
- 現場後代検定牛…………… 90頭
- 遺伝能力調査牛…………… 20頭
- 供卵牛…………… 10頭
- 計 157頭

施設配置図



長崎県肉用牛改良センター

〒859-4824 長崎県平戸市田平町小手田免19
 TEL (0950) 57-1684 FAX (0950) 57-1685
<http://www.n-nourin.jp/ah/agrilink/usi/index.htm>